



二中だより

さとく うつくしく たくましく

天童市立第二中学校だより 第11号 令和8年10月23日 文責：校長 五十嵐由美子

感動 そして 感謝

♪合唱コンクール♪

10月14日(水)に、天童市市民文化会館を会場に合唱コンクールが開催されました。

「我々はなぜ歌うのか？ 聞いている人に 歌が与えるものとは？」

これは10月初めの、3学年の週末課題作文のテーマとして出されたものです。3年生の皆さんの文章の中には このような言葉がありました。「歌は感動」「勇気」「感謝」「想い」「気持ちの共有」「歌で気持ちがひとつになる」「歌はクラスの絆」・・・ 本番のステージ上の全身で歌う姿や迫ってくるような歌声から、それが十分に客席に伝わってきました。どのクラスの合唱も大変素晴らしいものでした。

曲の決定、音とり、パートを合わせ、強弱や音の長さや表情や様々なことに意識を向け、みんなで話し合い、力を合わせ、声を重ね、合唱を作ってきました。本番はたった5分ほどのステージ上の発表ですが、そこに至るまでの過程がクラスの成長であり、財産だと思います。審査結果発表での歓喜の声も、悔し涙も、全力で取り組んできたからこそ、あふれ出てきたものでしょう。

合唱のすばらしさに加え、クラスの誰よりも早く練習に取り掛かったであろうピアノ伴奏者の皆さんの美しい演奏や、全身で全員の声を束ねてくれた指揮者の皆さんの表現豊かな指揮、曲の背景や曲に込められたメッセージとそれを歌う自分たちの思いを熱く語ってくれたクラス代表の皆さんの言葉も素晴らしく、ぐっと胸が熱くなる場面が何度もありました。

これまで、企画や準備、当日の運営を行ってくれた実行委員のみなさん、各クラスでよりよい合唱を作るためにみんなをまとめ導いてくれたリーダーのみなさん、そして、素晴らしい合唱を作りあげた生徒のみなさん、ありがとうございました。



咲く花と緑に心明るく

保護司会のみなさんと花植え活動



10月20日(火)に天童地区保護司会の皆さんが来校され、3年生の生徒会生徒と鉢植えに寄せ植えを行いました。花を見て心優しく豊かな気持ちで学校生活を送って欲しいという願いで、苗や用土などの費用をご寄附いただいているものです。初めて寄せ植えを行う生徒

も少なくなく、保護司会の方々から教えていただきながら、素敵な寄せ植えを完成させました。これから寒い季節を迎えますが、昇降口で迎えてくれるかわいい花や緑に元気をもらえそうです。



生徒会会長はどこへ？

生徒会企画全校レク

10月21日(水)の午後の1時間に、生徒会全校レクリエーションが行われました。第58期生徒会のまとめとして、学年縦割りの活動を通して、二中生のつながりを持ち、一体感を持つことを目的に、生徒会執行委員会メンバーが話し合い、ゼロから企画したものです。

行方が分からなくなった生徒会会長を救い出すために、校内に散らばった問題(なかなかの難問)を解いていき、生徒会会長が隠されている場所を見つけます。各学級の同じ出席番号で各学年2人×3学年の6人縦割り班を作り、協力して問題を解いていきます。この時間に初めて集まったメンバーで、最初はぎこちないアイスブレイク(自己紹介)から始まりましたが、協力して問題を解いていくうちにだんだんと距離が縮まっていくのが見ていてわかりました。校内にドラマVIVANのテーマ曲がBGMとして流れる中、難問を解くためにあれこれと意見を出し合ったり、次の問題がある場所へ班で連れだって移動したり、3年生の声掛けやリーダーシップ、生徒会のみなさんの全校生を楽しませようという工夫など、様々な素敵な場面がありました。生徒会会長も無事救出され、最後は班ごとの振り返りを行い、自然に拍手が起こっていました。

将来、偶然一緒になった人同士で話し合って何かを決めたり、協力して物事を進めたりしていく機会が沢山あると思います。生徒会会長のまとめの言葉の中に、「みなさんの姿から、生徒会の3本柱の一つである『共存共栄』が感じられました」とありました。これからも、誰とでも良い関係を築き、自分の意見も伝えつつ、お互いが過ごしやすくなるように気遣う力を、意識して自分の中に育てていって欲しいと思います。

